

MADE IN SINGAPORE. (メイド・イン・シンガポール)



テーマに沿った現地アクティビティ紹介



シンガポール政府観光局 (STB) は、シンガポールへの旅を促進する新しいブランドキャンペーン「Made in Singapore. (メイド・イン・シンガポール)」(MIS) を展開中だ。「予想外の体験。シンガポール」というタグラインで、シンガポールでしか体験できない予想外の体験を訴求している。その内容はさまざま。旅行者のニーズにおいてテーマの設定が可能だ。1月に現地で体験したアクティビティを紹介する。

1 シンガポール・サイドカーの名所巡り
ベスパのサイドカーで街を疾走

テーマ例「トレッキング. Made in Singapore.」街中探索で意外な面を発見する

街中での意外な発見ができるアクティビティの例が、シンガポール・サイドカーによるイタリアのスクーター、ベスパのサイドカーに乗って見どころを巡るツアー。エスプラネードに集合、ヘルメットを被り、日本語ドライバーガイドが運転するベスパのサイドカーに乗り込んでスタート。オープンカーで風を切って進むのは迫力満点だ。



ベスパのサイドカーで名所を巡る

ビクトリア・シアター&コンサート・ホールなど植民地時代のビクトリア様式の建物が集まるシビック ディストリクトで歴史の話聞く。そこから旧正月の飾りが賑やかなチャイナタウンへ向かい、イップ・ユー・チョン氏の壁画を見たり、雰囲気満喫。さらにアートな壁画が点在するプラナカン美術館周辺にも立ち寄る。



サイドカーの目線で景色を見る

また収穫祭ポンガルの装飾がカラフルなインド人街を通り、ヒンズー教寺院やインドの生活が描かれた壁画を眺め、アラブ・ストリート付近のキャンボン・ギラム地区へ。鮮やかな空色のベスパが人目を惹くため、あちこちで写真を撮られながら、おしゃれなショップやカフェが集まるハジレーンを通り抜け、あっという間の2時間が終了。出発地点以外で降りることも可能。



街中を走る様子

行き先は各種、1時間や3時間のツアー、ナイトライドもあり、団体にも対応。シンガポールの多様な文化の空気感を直に感じながら話を聞き、見慣れた景色も新鮮な風景となる好例だ。



ハジレーンにあるウルトラマンの壁画

同社はもともとチャリティ目的でスタート、コロナ禍では医療従事者へ食事を届けるなど社会活動がベースにある。参加資格は10歳以上で、体重110kg以下。サイドカー自体はかなりコンパクトで、膝を少し立てて座る形だが、実際に元F1ドライバーのデーモン・ヒルなども乗車している。シート裏に小さなバッグは入れられるが、大きなリュックは持ち込めない。

「トレッキング. Made in Singapore.」その他のアクティビティ例

- マンダイの特別ツアー&グランピング
リニューアブルしたバード・パラダイスの鳥類病院で舞台裏を見る特別ツアー、ペンギンコブでのグランピング滞在など。
●サステナブル・シンガポール・ストーリー
緑溢れる高層ビル、植物やハーブの利用法、マリーナ・バラジのダムなどサステナビリティの物語を組み込む。街で出会える緑を探すのもおもしろい。

2 レッツゴー・ツアーのマリーナ・ベイ・ナイトツアー
夜のシンガポールを自転車で散策

テーマ例「ジョイライド. Made in Singapore」乗り物で隠れた名所を巡り、予想外の体験をする

乗り物に乗って知られざる場所を巡る例がマリーナ・ベイ・ナイトツアー。通常の観光では行かない遊歩道から夜も賑わうマリーナベイの景色を楽しみながら自転車に乗る約2時間のガイドツアーだ。



川沿いの整った道で走る

出発はレッツゴー・ツアーのオフィス。ここで自分に合った自転車を選ぶが、スポーツタイプのクロスバイクだけでなく、一般的なシティサイクルもある。ヘルメットは義務ではなく希望者が着用。フリーティング後、各自で前方に白色、後方には赤色の灯火ライトを取り付け、ペットボトルの水を自転車のバッグに入れて出発。先導するガイドの後について、カラン川沿いに整備されたプロムナードを進んでいくが、日中より過ごしやすい時間帯に自転車に乗るのは気分爽快。同じくサイクリングやジョギングするローカルの人たちともすれ違う。



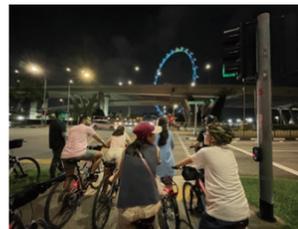
F1ピットストップ前

ナショナルスタジアムを望む貯水地カラン・ベイシンの前では、雨水の再利用や淡水化など水政策の話、F1のピットストップビルディング前ではナイトレース開催の話などストップごとに説明も興味深い。次に向かったマライオン公園は中間地点となるため、トイレに行ったり、写真を撮る時間も設けられる。ここから夜景がきれいなマリーナベイをぐるりと周り、マリーナベイ・サンズの前で記念撮影。この辺りは人も多く、ぶつかったり前の自転車を見失わないよう気をつけながらペダルを漕ぐ。最後のストップはシンガポールフライヤーの見えるスポットで、向かいにガーデンズ・バイ・ザ・ベイが見える。ここからは再びプロムナードを通って帰路に着く。全体で約12kmのほぼ平坦な道で、ガイドと一緒になければ行かないような場所から見る景色が新鮮だ。その日のペースによって終了が遅くなることもある。ガイドは英語。雨天決行。



マリーナベイ・サンズ前

ちなみに、街中には、シェアサイクルもある。いずれにしても車道を通る場合にはヘルメットの着用が必要だ。



普通の道も通る

「ジョイライド. Made in Singapore」その他のアクティビティ例

- ウビン島カヤックツアー
カヤックでウビン島のマングローブの森を進む。
●ハウ・パー・ピラと地獄博物館のトワイライトツアー
中国神話や道教の教えを再現したテーマパーク、ハウ・パー・ピラを探検し、日没後の地獄博物館を見学する。

3 プラス・ライオン・ディスティラリーのジンスクール
香りの調合から蒸留まで楽しむオリジナルジン作り

テーマ例「ハッピーアワー. Made in Singapore.」飲むことや買い物など笑顔になれること

シンガポールはアジアのベストバー50でも11軒がランクインするほどバーシーンが盛り上がっている。MISでは笑顔になれること全てが「ハッピーアワー」で、飲むことはもちろん、自分でクラフトアルコールを作る体験はもっとハッピーな時間となる。2012年創業のプラス・ライオン・ディスティラリーは天然の植物素材(ボタニカル)の香りを抽出して造るジンが有名な蒸留所で、オリジナルジンを作る約3時間のスクールを実施している。

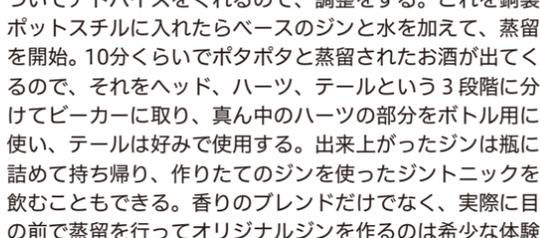


蒸留機や道具が用意されている

2階にあるラボで、ウエルカムカクテルを飲みながら作り方の説明を受けたら、4種類のジンをテイスティングし、香りや特徴の違いを実際に感じてみる。さらに、ジンジャーフラワーやカフィアライムの葉、タマリンドの果実などシンガポールらしいハーブの特性も学ぶ。ジンのベーススピリットとして、ジュンパーベリーとコリアンダーシードを秤量し漬して混ぜたものに、スパイスやハーブ、果物などを選んでアレンジを加えていく。選んだボタニカルは希望の味わいにするために引くもの、足すもの、量についてアドバイスをくれるので、調整をする。これを銅製ポットスチルに入れたらベースのジンと水を加えて、蒸留を開始。10分くらいでポタポタと蒸留されたお酒が出てくるので、それをヘッド、ハーツ、テールという3段階に分けてピーカーに取り、真ん中のハーツの部分を使って、テールは好みで使用。出来上がったジンは瓶に詰めて持ち帰り、作りたてのジンを使ったジントニックを飲むこともできる。香りのブレンドだけでなく、実際に目の前で蒸留を行ってオリジナルジンを作るのは希少な体験だ。説明は英語。蒸留所のガイドツアーも実施している。



量り方も習う



トレーの上にボタニカルを用意 蒸留されたジンが出てくる

「ハッピーアワー. Made in Singapore.」その他のアクティビティ例

- タングリンジン蒸留所ツアー
数々の受賞歴のある醸造所の見学とテイスティング。
●アプサーディティーズ (テーマレストラン)
部屋から部屋へ移動しながら6コースのメニューを楽しむダイニング体験。
●ショップハウスでシンガポール・スリングワークショップ
築80年のショップハウス(店舗付き住宅)でシンガポール・スリングの作り方を学ぶ。

4 日常の景色も天気や季節で意外な写真スポットに
定番から予想外の景観まで

テーマ例「インスタ映え. Made in Singapore.」

未知のスポットや、思いがけない瞬間、あっと驚く景色に出会うこともMISのテーマ。多民族の国だからこその年中様々な祭りやライトアップが行われている。ここでは定番スポットから季節限定や予想外の景色など、実際に出会ったスポットを紹介。



写真スポットとして定番のジュエル



春節の飾りが華やかなチャイナタウン



スーパーツリーグローブにも干支の竜が



建物の中も緑が溢れる(エディションホテル)



壁画アートもあちこちに(アルメニアンストリート)



雨上がりのマリーナベイも情緒がある